

令和8年 木曾広域連合議会 第1回定例会行政報告

令和8年2月27日

本日は、木曾広域連合議会 第1回定例会を招集しましたところ、議員の皆さまには、何かとご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。日頃から広域行政に対し、ご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本海側では大雪が続き、1月には青森市で積雪167cmを観測し81年ぶりの記録的な大雪となりました。雪による事故の死者数が30人を超え、14年ぶりに自衛隊による災害派遣も行われています。一方、東海、近畿、四国等では渇水が続き、各ダムでは取水制限が実施されています。林野火災なども頻発するなどして、天候の異常が心配されるところです。

2月8日には第51回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査が行われ、自民党が大勝し単独で議席の2/3を獲得しました。また長野県においても自民党が小選挙区5議席全てを独占しました。食料品の消費税2年間ゼロ政策や外交・安全保障政策など注視していきたいと思えます。

また、2月4日から22日までミラノ・コルティナ2026オリンピックが開催されました。日本勢はスキージャンプ女子、男子ビックエア、フィギアスケートペア等合わせて24個のメダルを獲得しました。フィギュアスケートのペアでは、りくりゅうペアのフリーで世界歴代最高点の演技など感動の大会となりました。2年後の2028ロサンゼルスオリンピックが今から楽しみです。

次に、本定例会に提出しました議案について申し上げます。

令和8年度当初予算・一般会計につきましては、予算総額を35億3,000万円余とするもので、対前年比8,800万円強(2.5%)の減額計上となっています。

主な事業は、事務局庁舎電気配線工事に1,000万円、CATV機器設備更新に6,700万円、旧木曾寮解体工事・2年目となりますが1億6,200万円、環境センターし尿施設点検整備に5,000万円、木曾ク

リーンセンター補修工事に 1 億 4,200 万円、町村橋梁点検業務に 6,400 万円、救助工作車の更新 1 億 7,000 万円などを計上しています。

一般会計を性質別に見ると、人件費は、前年度比 1,700 万円余の増となる 9 億 7,000 万円（正規職員分）に、物件費では、800 万円弱の減となる 14 億 1,000 万円に、普通建設事業費では、1 億 7,600 万円余の増となる 6 億 5,000 万円となります。

介護保険特別会計では、当初予算の総額を、39 億 3,300 万円余とし、対前年度比 5,300 万円余（1.3%）の減額予算となりました。また、汚泥集約センターの下水道事業会計では、収益的支出における当初予算の総額を、1 億 400 万円余とし、対前年度比 1,000 万円余（10.7%）の増額予算となりました。

以上、3 会計の当初予算編成にあたりましては、第 4 次木曾地域振興構想の基本理念と共に、令和 5 年度から 9 年度の事業方針を示した第 6 次広域計画を念頭に置き、さらに特別会計では第 9 期介護保険事業計画及び地方公営企業法などの指標を下に、構成町村との協議を重ねてまいりました。社会情勢を見極めつつ、適正な予算執行と業務遂行に努めてまいります。何卒、ご理解の上、ご審議をお願い申し上げます。

それでは、11 月定例会以降の各課の事務事業を報告します。

□総務課

○昨年 10 月より令和 8 年度当初予算編成に取り組み、1 月 26 日（月）の正副連合長会議にて予算案を決定し、本日の上程となりました。十分な審議をお願いいたします。

○2 月 12 日（木）に消防職員採用 2 次募集・面接試験を実施し、5 名の応募者の中から 2 名の採用者を決定しました。これで、令和 8 年度の職員採用試験は全て終了し、先に行われた 1 次募集と併せ、一般職 1 名、消防職 5 名計 6 名の採用者を内定しました。

□地域振興課

- 地域間交流事業において、11月29日（土）に「かすがい環境フェス」、2月1日（日）には「グルッポふじとうワークショップ」で木曾ひのきの箸づくり体験やボールプール遊び、郡内事業者による木工ワークショップを開催しました。木に触れる体験を通して水源地の森林の果たす役割りや森林整備の必要性などの啓発に取り組みました。
また、1月17日（土）には木曾三川と堀川・上下流を繋ぐ交流会が名古屋市で行われ、木曾郡内の親子18名に参加いただきました。熱田^{しろとり}白鳥の歴史館、堀川クルージングなど下流域参加者との交流を通して、お互いの歴史や下流域の活動を学ぶ機会となりました。
- 日本遺産の認定継続審査において「再審査」となっていますが、12月24日に文化庁より審査結果が公表され、当地域は「認定継続」となりました。令和8年4月から新たな広域観光推進体制により、日本遺産をはじめとした観光資源の活用や情報発信等、実効性ある取り組みを進めてまいります。
- 元気づくり支援金を活用した「木曾路観光・物産展 in 中日ビル」を7月・10月・1月に全国センター広場で開催しました。木曾郡内の事業者延べ19者にご参加いただき、特産品販売や木工ワークショップ、観光PRを行いました。この他、事業者による単独出店にも延べ8者にご参加いただき、木曾地域への誘客に取り組みました。
- 2月26日（木）に木曾川流域みんなの会の「水源の里基金」を活用して木曾青峰高校インテリア科の生徒3名が制作した木製玩具の贈呈式が名古屋市科学館で行われました。平成24年度から始まった木製玩具寄贈の取り組みは、今までに40点以上が寄贈されており、同施設を訪れた親子に楽しんでいただいています。

□森林整備推進室

- 愛知中部水道企業団との森林整備協定造林事業について、これまで下流域から基金助成をいただいていることに敬意を表し、2月4日、正副連合長が企業団へ表敬訪問いたしました。企業団を構成する5市町の首長（正副企業長）との懇談を通じて、木曽地域における森林整備の現状や課題等について、より一層のご理解をいただくとともに、今後も強固な交流を継続していく重要性を相互に確認いたしました。
- 2月5日に木曽文化公園ホールで開催された「長野県ふるさとの森林づくり賞表彰式」において、「森林づくり推進の部」長野県知事賞を受賞いたしました。本受賞は、木曽郡内の町村が実施する森林経営管理制度の集積計画作成などの専門的な業務を、広域連合が一体的に担っている取組が、他の模範となっているとともに、森林・林業の振興に大きく貢献しているものとして高く評価されたものです。

□交通政策室

- 令和7年10月に運行を開始した広域幹線バス「きそバス」について、運行管理、運営の安定化に取り組んでまいりました。運行開始から令和8年1月末までの4か月間における利用者数はのべ46,628人、1日当たり379人となっており、概ね計画どおりの利用状況となっています。利用状況の把握を目的として、職員による乗降調査（サンプル調査）を実施しました。12月15日に北部幹線藪原系統の全便、16日には南部幹線坂下系統の全便に乗車し、バス停ごとの乗降者数や利用者の属性について調査を行いました。また、1月20日には木曽地域公共交通活性化協議会を開催し、公共交通計画等の取組状況に関する中間報告、「きそバス」に寄せられた意見や要望、バス停看板の整備等について協議を行いました。今後も利用状況を注視しつつ、交通事業者との連携を図りながら、安全運行の確保に努めるとともに、地域公共交通の課題への対応も進めてまいります。

□健康福祉課

- 12月22日には、木曾病院濱野院長と北川救急部長のご同行により、信州大学医学部を訪問し、来年度の木曾地域の一次救急医療への医師派遣の依頼を行いました。
- 12月9日、16日、1月8日、9日の4日間にわたり、松本地区、伊那地域および岐阜県中津川地域の分娩医療機関や消防署、保健福祉事務所を訪問し、改めて分娩受入れのお願いをしつつ、木曾地域の出産支援体制について説明を行いました。

□建設課

- 「橋梁定期点検一括発注業務」は5町村（木曾町、上松町、南木曾町、木祖村、大桑村）あわせて217橋の点検を2月27日（金）までに終わりました。この結果を踏まえ、町村担当者と連携を図り今後の修繕業務を進めてまいります。

□情報センター

- 12月9日に、本年度2回目となる放送審議会を開催しました。テロップの充実など番組改善の御意見をいただいております、今後も視聴者に見やすい番組の放送に努めてまいります。
- 令和7年度ドローン活用事業（長野県地域発元気づくり支援金活用）の一環として、1月31日に木曾合同庁舎において、講演会とドローン操縦体験会からなる「ドローン活用推進イベント」を実施しました。ドローンの住民周知と協力可能者発掘を目的に実施し、郡内各地から23名の方に参加いただき、ドローンを知る機会としていただきました。

□木曾文化公園

- 11月22日(土)にアウトリーチ事業による「出張よらまいか寄席」を木祖村民センターで開催しました。高座こうざに座っての落語体験もあり、多くの皆様にお楽しみいただきました。
- 11月30日(日)に「スタインウェイピアノパーティー」を開催しました。当日は、YouTubeによるライブ配信も行い、多くの皆様に演奏をお楽しみいただきました。
- 12月13日(土)には、子どもサポート研究会との共催による「中川ひろたか&ガーガーズ」ファミリーコンサートを開催し、多くの親子にお楽しみいただきました。
- 12月21日(日)には、長野市出身のピアニストによる「山本貴志たかしクリスマスピアノコンサート」を開催しました。県内外から多くの方にご来場いただき、演奏をお楽しみいただきました。
- 3月までの開催事業として、3月21日(土)22日(日)に「春休み映画鑑賞会」を予定しています。

□環境課・クリーンセンター・環境センター

- 2月中旬に環境課と町村担当で、郡内主要箇所^①の不法投棄パトロールを実施し、状況の確認を行いました。複数箇所^②で不法投棄があり、町村担当と対応をしているところです。
- 木曾クリーンセンターでは、12月29日(月)に年末の可燃ごみ特別受け入れを実施しました。例年100件程度の搬入が、今年度は231件と大幅に増加しました。
- 緑聖苑では11月末で補修工事とLEDの交換工事が完了しました。
- 環センターでは、12月に貯留槽防食工事が完了しました。これで令和4年度に確認された貯留槽劣化の対策は終了しました。

□消防本部

○昨年一年間の火災件数は、広域消防発足以来最少件数の5件（昨年比8減）で、救急出動件数は、4年連続で最多件数を更新し1,755件（昨年比16増）でした。

本年1月1日以降の火災件数は、3件（昨年比2増）で、いずれも暖房器具が原因の「ぼや火災」が発生しています。

○林野火災警報の運用は1月1日から開始し、これまでに林野火災注意報を4回発令しています。

○南木曾町の救急体制強化のため、中津川市消防本部と救急特別応援の確認書を交わし、2月1日から運用を開始しました。これは、救急車が全て出動し、更に救急要請があった場合で、迅速に対応できない時は、相互に救急応援出動するものです。

○飯田・木曾消防指令センターにつきましては、2月9日と10日に119番回線の切り替え作業が完了し、仮運用を開始しました。専従職員3名を派遣し、4月1日の本運用に向けて、準備を進めてまいります。

今回提出の議案であります。条例改正2件、令和7年度補正予算が2会計の2件、令和8年度当初予算が3会計の3件、同意案件1件、でございます。各議案につきましては、事務局長から提案し、その詳細につきましては、担当課長より説明します。

なお、定例会の会議閉会後に全員協議会を予定しております。ご審議の程、ご理解を賜われますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。